

平成 27 年 1 月の市民の声（全 4 通のうち 3 通）

市民の声の内容とそのお返事の一部を紹介します。

◇県道石打停車場塩沢線のグレーチングの取り替えについて

【ご意見・ご提案など】

県道石打停車場塩沢線の樺野沢地内 2 か所において、冬期間、圧雪になると路面に段差ができ、自動車で通行する際に大変危険です。この道路は機械除雪区間で、降雪時には圧雪状態になります。強く降るときは、圧雪が 10 センチくらいになることが度々あります。しかし、この 2 か所の側溝蓋は、グレーチングになっており、雪はほとんど積もりません。段差が 10 センチほどで幅が 60 cm の凹状態になります。降雪時は道路一面が真っ白になり、凹凸がわからなくなります。直線道路であり、それなりの速度で走行するので、最初に前輪がガクンと落ちて一気にハンドルを取られます。ひどいときは、頭が軽自動車の天井にぶつかりそうになります。さらに、後輪がガクンと落ちて驚くことになります。そのあと、30 メーターほどの間隔で 2 か所目の側溝蓋があり、またハンドルを取られます。

昨年の冬、雪が小やみになったとき、側溝が見えたので最徐行していたところ、後続の普通車が徐行しないで私の車を追い越そうとしました。側溝蓋のか所でガクンと大きく揺れ、私の車に寄ってきて、接触するのではないかと、ひやりとさせられました。

交通事故を防止するために道路を横断している側溝蓋をグレーチング蓋からコンクリート蓋等に交換し、降雪時の段差をなくして、安全な運転ができるようにしてください。

【お返事】

この度、ご提案をいただきました「県道石打停車場塩沢線のグレーチングの取り替え」につきまして、県道の維持管理をしています新潟県地域振興局地域整備部に照会いたしました。

その回答は、

『大雪になりますと、機械除雪が降雪に追いつかないことや路面が圧雪状態になり、通行される皆様にご不便をおかけすることも度々発生しています。誠に申し訳ありません。要望か所の道路横断側溝は、農業用排水と道路排水を処理するものであり、側溝清掃等の管理上の観点はもとより、地域の皆様のご意見を踏まえて、グレーチング蓋を設置したものです。また、昨今の集中豪雨による道路冠水も多数発生していることから、地形及び地域状況を踏まえてグレーチング蓋を設置しています。』

当該か所は、路面の断側溝部に圧雪で大きな段差が生じやすいとのご意見を踏まえて、冬期の道路パトロールや除雪作業時に圧雪が生じないように特に注意し、冬期間においても安全に通行できるよう努めてまいります。』という内容となっております。

なお、市道につきましても降雪状況により機械除雪後に圧雪となる場合がありますので、通行車の迷惑にならないように努めてまいりたいと考えております。
(担当：建設課)

◇心の相談室について

【ご意見・ご提案など】

以前、保健師に心の相談ということで、電話したことがあります。

特に、職場の人間関係で悩み、そのせいで妻ともうまくいかず、生きがいをなくしたと話しましたが、話をするうちに、保健師から私の話は、すべて相手が悪いと言っているように聞こえると言われました。

私は、60歳前の男で、ここまで生きてきたのだから、もういいかという気持ちもあります。しかし、常に過去を振り返って自分にいけないことがなかったかと、自問自答しています。そのうえで、自分が感じたことを話して、それを理解されないのでは、何のための心の相談室なのでしょう。

最後に、心療内科を勧められました。それは、情報としてはよかったです、電話するのを躊躇したり、電話したことを後悔するところもありました。

本当に人の痛みを知る人生の経験者を、その職に就かせてもいいのではないのでしょうか。

埋もれている人材は必ずいます。さがしてみることも社会のためではないのでしょうか。

【お返事】

電話相談をしたけれども真剣に聞いてもらえなかった、もっと人の痛みのわかる人生経験豊かな相談員を配置できないか、というご指摘をいただきました。

相談された方のお気持ちに十分にお応えできなかったことを深くお詫びいたします。相談を受ける者は、相談者の話に真摯に耳を傾けなければならないことはいうまでもないことです。

保健師も所属する部署によりさまざまな業務を担当しており、それぞれに行われる研修や日々の業務の中で学習し、経験を積みながらレベルアップを図っています。相談業務を担うにあたり人生経験を補う手段の一つとして、今後も研修会や日々の業務から経験を職員間で共有をしながら、相談先として質を高めていきたいと考えています。
(担当：保健課)

◇市制施行 10 周年事業と海上自衛隊の演奏会について

【ご意見・ご提案など】

市政施行 10 周年記念式典と星野富弘“花の詩画展”を思い返しています。

記念式典には、第二部からとっていたのですが、思い直し、第一部からにしました。

表彰式では、こういう方々も私たちを支えてくださったのだと強く思いました。明大マンドリン倶楽部記念演奏会では、初めてのライブに感動しました。

たくさんのお土産のずっしりとした重量感は、これを企画され、準備された方々のご苦勞を感じさせるものでした。

合併 10 年の歩み～未来に向けて（南魚沼市勢要覧 2014）を壁に立てかけて、時々眺めています。

星野富弘“花の詩画展”11月8日のオープニングセレモニーや講演会には参加せずに、他の展示室に足を運んでいました。こうした機会は、またとないかとも思い、参加させていただきました。しかし、私は腰を悪くしており、途中で帰りました。私は画家の絵画よりも詩が好きです。11月9日、詩を読むために、再度出かけてきました。心いやされる行事に参加させていただき、感謝申し上げます。

しかし、市のゆとりの多くないふところ具合が気がかりでした。これらの経費は、どれくらいだったのでしょうか。

1月31日、海上自衛隊の演奏会は素晴らしいことでしょう。災害など多方面での救援活動などがうなずけることです。

どういうことから、自衛隊の演奏会となったのでしょうか。

【お返事】

お手紙の内容から市制施行 10 周年の記念事業を楽しんでいた雰囲気伝わってきて、大変うれしく読ませていただきました。

市制施行 10 周年を迎え、これからの 10 年、その先の未来につながるような事業、また、市民全員で 10 周年の喜びを分かち合えるような事業の実施を心がけ、地域文化の発信や芸術文化の鑑賞機会の増大など、なかなか普段に取り組めない事業も記念事業として実施してきました。

記念事業としては、従来のイベントのスケールアップや新規事業を合わせて 50 を超える事業数でしたので、ご心配されるように経費も多額になっています。全体では予算額として 9,600 万円を確保して、これらの事業を実施してきました。

終了していない事業があるため、決算額ではなく予算額だけをお知らせします。

10 周年の記念事業には、多額の費用をかけましたが、多くの市民の皆様にご事業を楽しんでいただきました。同時に南魚沼市を内外に発信する機会や市民主

体の手作りイベントの実施により、地域の活性化や人材・団体の育成が図られるなど、経済効果や波及効果が大きかったものと評価しています。

今後とも市職員一同、市民の皆様とともに明るいまちづくりを進めていきますので、どうぞ変わらぬご指導とご鞭撻をお願いいたします。

(担当：企画政策課)